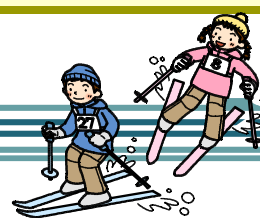


平成29年度

学校だより 第9号

チャレンジ&ありがとう

高岡市立木津小学校
平成30年1月19日
発行責任者 木越明子



よいところを見付けよう

校長 木越 明子

新しい年がスタートしました。本年も木津小学校のために、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

1月12日は今季最強寒波が到来し、高岡市内は大雪のため臨時休校となりました。ここ数年来、暖冬が続き、雪の脅威を忘れかけていましたが、雪国の厳しさを再認識させられたドカ雪でした。各家庭への連絡が遅くなったために、保護者の皆様や子供たちにご心配、ご迷惑をおかけしましたことに心よりお詫び申し上げます。今後は、少しでも早く対応できるよう対策を講じていきたいと考えています。

さて、2学期の終業式に、「自分のよいところを見付けて、自分のことを好きになりましょう」と子供たちに呼びかけました。そして、3学期の始業式に「自分のよいところを見つけた人？」と問いかけると、ほんの数人しか手を挙げないのにびっくり！ 反対に「まだ見付からない人？」との問いに、たくさんの子供たちが手を挙げました。「よいところを見付けるための一番の近道は、よいところをつくることですよ」と言っただけなのに、寂然としない思いが残りました。

もしかしたら、子供たちが『よいところ』を仰々しく捉え過ぎているのではないかと、これまで自分のよさを実感できるような褒め方をしてこなかったのではないかと自問自答していた時に、はっと思い当たることがありました。6年生が卒業文集にメッセージを寄せてほしいと書いてきた手紙の中にあつた ” 先生の明るい「おはよう」の声を聞くと、心が温かくなりました ” という言葉が、すごく嬉しかったことです。毎朝、「おはようございます」と子供たちに言う時は、できるだけ明るく高い声を出すようにしていることが、6年生に伝わっていたことが分かったからです。自分の思いや頑張りに誰かが気付いてくれて、しっかりと認めてもらえたことで嬉しくなるのは、大人も子供も一緒だなと思いました。

「よいところを見付けよう」という言葉は、子供の周囲にいる大人自身が心掛けていかなければならないことだと痛感しました。ただ褒めるのではなく、子供の内面をしっかりと見つめて、その思いや頑張りを認め、共に喜ぶことで初めて子供自身が自分のよさを実感できることに気付かされました。木津っ子一人一人が自分のよいところを実感し、自分のことが好きになれるように、教職員も心を合わせて教育活動に取り組んでいこうと気持ちを新たにしました。

平成30年度からの移行措置について

2020年度から全面実施される新小学校学習指導要領では、「生きる力」を育成するために、「何を学ぶのか」に加えて「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が重視されるようになります。

来年度から移行措置が始まり、道徳が教科化されたり、中学年で外国語活動(15時間)・高学年で外国語科(50時間)を行ったりするなど、新たな教育内容が加わります。詳細が決まりましたら、学校便り等でお知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。

